

親子聖書日課

NO.1883 2024.10/27-11/2

名前

[日]心が病む時、感謝することを忘れ、不平不満が起こり、何をしても楽しくないものです。「自分の心を守る」ためには、命の源である主を心の王座に迎え、御言葉に聴従することです。私達が御言葉を守るなら、御言葉が私達を守ってくれます。

[月]いつの時代も性的誘惑ほど恐ろしいものはありません。自分の欲望を満たすために、相手を利用し、人格を傷つけ、家庭も社会もダメにします。神の祝福を一瞬の内に失います。夫婦が生涯愛し合うことこそ、喜びの泉であり、最高の教育です。

[火]アリは勤勉な人にぴったりです。しかし、似ていない所もあります。それは人生の冬(死)に備えていないことです。死が来てからでは遅いのです。今という夏の間に、命のパンである主を分かち合うために、アリのように勤勉に働きましょう。

[水]性欲は食欲や学習欲のように、それ自体は悪くはありません。しかし、神の御心の枠を越えて、欲に溺れて生きる時、取り返しのつかない人生を送ります。「自分の欲望の罠」にかからないように、主の教えを瞳のように大切に守りましょう。

[木]この知恵は主のことです。主の生涯は、神の知恵を見事に表しました。主は「私は道であり、真理であり、命である」と言われました。主を知ることが人生で一番大切で、第一になすべきことです。主を知るために、主に信頼して従うことです。

[金]主の知恵は、人生という家を7つの柱(知識、慎み、知恵、分別、勧め、教訓、悟り)で支えてくれます。ですから「浅はかな者」であることを気づいて、今すぐ主の下に行きましょう。いつも御言葉に立ち寄るために「聖書日課」に励む人になりましょう。

[土]皆さんは「神に従う人」と「神に逆らう人」のどちらでしょうか。勿論、神に従う人になりたいですね。そのためには、「諭しを守る」ことです。自分にとって都合の悪い言葉でも、素直に聴き従うことです。必ず、命の道を歩むことができますでしょう。



	聖書	問題	答え
日	箴言 4:1-27	何を守るよりも、何を守ることが大切ですか。	
月	5:1-23	私の口の言葉からどうしてはなりませんか。	
火	6:1-35	怠け者よ、何のところに 行って見るべきですか。	
水	7:1-27	何を瞳のように守るべき ですか。	
木	8:1-36	諭しに聞き従って、何を 得るべきですか。	
金	9:1-18	浅はかな者は誰でもど うすべきですか。	
土	10:1-32	何を守る人は、命の道を 歩みますか。	
感想と祈りの課題			